

「出張授業」の紹介

*対象学校種：中学校

1 博士号教員氏名	東海林 拓郎
2 授業のタイトル	気候変動と社会の意思決定
3 授業のねらい・育てたい力	ねらい：地球温暖化に関する知識に基づいて、意思を構築し、発信しよう 育てたい力：習得した科学的な知見や知識を実社会で活用・発揮する力
4 授業の概要	<p>①内容</p> <p>地球温暖化に関する基本的な知識を習得した後、仮想社会における地球温暖化や気候変動に関わる意見を異なる立場から構築させ、ディベートをさせる。ディベートの後、仮想社会における市民として模擬投票を行い、仮想社会の未来を決める。</p> <p>②人数：30～40名</p> <p>③時間：120～150分</p> <p>（導入→講義→グループワーク→意見陳述→模擬投票→まとめ）</p> <p>④講義について</p> <p>地球温暖化の原因や気候変動について、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書を中心に紹介し、パリ協定に至る科学的根拠と国際社会関係について解説する。</p> <p>⑤グループワーク・意見陳述について</p> <p>講師が準備した仮想社会のストーリーを基に、立場の異なるステークホルダーごとにグループ分けを行い（工業先進国首相、諸島国首相、途上国首相等）、将来へ向けた意見陳述をさせる。</p> <p>⑥模擬投票について</p> <p>準備期間に余裕があれば、投票箱や記載台を市町村の選挙管理委員会から借りることも可能。また、投票用紙についても、県の選挙管理委員会から提供を受けて実施することができる。</p> <p>⑦まとめ</p> <p>科学的な知見や授業で習得した知見は、どのように活かしていくかが重要である点を強調する。</p> <p>※ 講師の所属校では、類似の授業を公民の教諭と協働で授業を構築・実践した。</p>
5 必要機材等	備品：プロジェクター、スクリーン